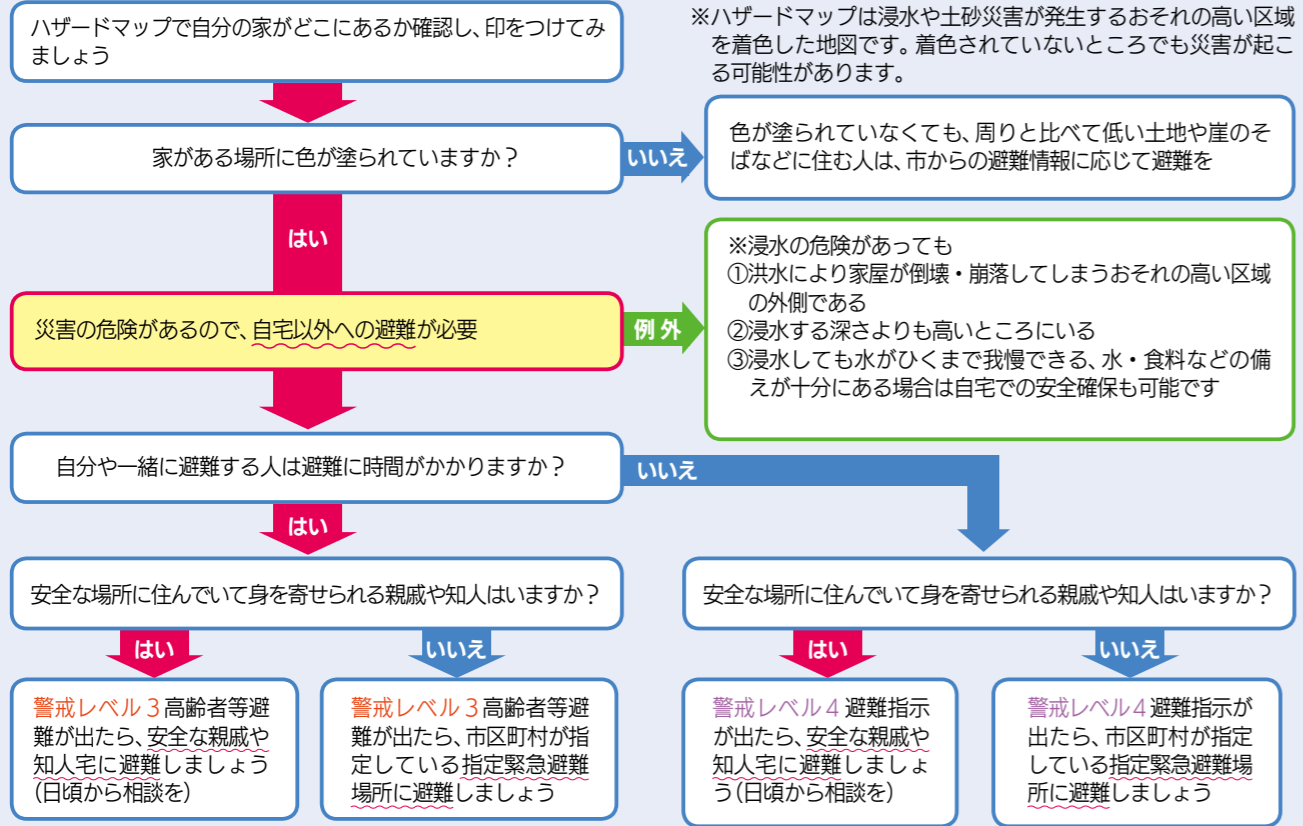


あなたが取るべき行動は？

避難行動判別フロー



大雨、台風の季節

一人ひとり考えよう

毎年、日本のどこかで、大雨や台風による災害が起こっています。いつ自分の身に降りかかるかわからない災害に、私たちは、どう備え、いざというときにどう行動したらよいのか。普段から、一人ひとりが考えておかなければなりません。

《危機管理・防災課》

浸水した加佐地区(平成25年台風18号)

市区町村長は、**河川水位や雨の情報(警戒レベル相当)**のほか、地域特性や災害実績なども踏まえ総合的に**避難情報等(警戒レベル)**の発令判断をすることから、**警戒レベルと警戒レベル相当**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難情報等警戒レベルは5段階あります。避難行動をとるのは「レベル3」からですが、1や2の段階で、情報にしっかりと注意を払い、次の段階に備えることが大切です。

市からは、レベル3以上を防災行政無線や、まいづるメール配信サービス、FMまいづるなどでお知らせします。

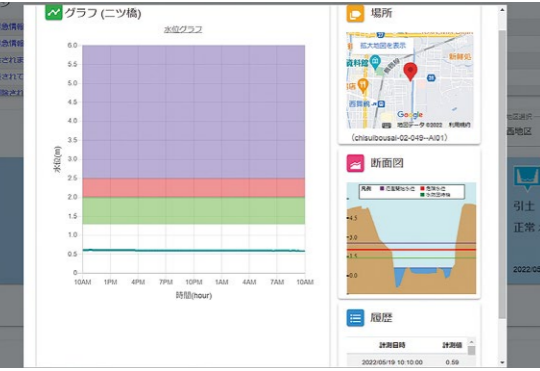
◇警戒レベル3「高齢者等避難」…避難に時間のかかる高齢者等は避難を開始。

◇警戒レベル4「避難指示」…ちゅうちよせず、危険な場所にいる人は全員避難を。

◇警戒レベル5「緊急安全確保」…命の危険が迫っている状況です。身を守る最善の方法をとりましょう。

総合モニタリングシステムで河川の水位や防災情報の確認を

市内を流れる河川の水位状況や防災情報を「舞鶴市総合モニタリング情報配信システム」で公開しています。由良川や高野川、与保呂川など20河川を掲載。国・府・市が管理する河川の現在の水位を確認できるので、避難判断の参考にしてください。市ホームページ(右下コードからアクセス可)で確認することができます。



▲スマホやパソコンなどで河川の水位や防災情報を確認

避難情報の入手方法

次の手段で避難情報などを入手することができます。事前に確認しておきましょう。

- ◇市ホームページ
- ◇まいづるメール配信サービス
- ◇防災行政無線
- ◇市公式



▲洪水ハザードマップ
▲土砂災害ハザードマップ

自分の居場所は安全か事前に確認を

自宅や職場など、自分がよくいる場所や通勤・通学に使う道が安全かどうか、事前に市ホームページのハザードマップなどで確認を。

ライン◇緊急速報メール◇テレビのdボタン◇舞鶴市総合モニタリング情報配信システム

FMまいづる自動起動ラジオ

電源を入れていなくても、防災行政無線と連動して自動で起動し、避難情報などが流れるラジオを販売しています。購入を希望する人は、FMまいづる(☎77・0120)へ。

【料金】1台1,000円



▲FMまいづる自動起動ラジオ

避難情報等(警戒レベル)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
~~~~~(警戒レベル4までに必ず避難! )~~~~~			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・洪水注意報
1	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報



市から発表

河川水位や雨の情報(警戒レベル相当)	
防災気象情報(警戒レベル相当)	
浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当 氾濫注意情報	—
1相当 —	—